

コールセンター Q&A

Q127

アルドステロンとレニン活性を同時に検査依頼した場合の、容器と採血量を教えてください。

A127

アルドステロンとレニン活性に必要な血漿量と容器は以下のとおりです。

アルドステロンとレニン活性を同時に依頼する場合は、「**アルドステロン/レニン活性比**」欄に**チェックのうえ、ご依頼ください**。(活性比の診断基準値はアルドステロンをEIA法から旧法(RIA法)に変換して算出する必要がありますので、ご自身での算出は困難となっています。)

項目名	必要量 (遠心後の血漿)	容 器
アルドステロン/ レニン活性比	1.2mL	A容器 EDTA-2Na 入り (7mL)

必要量の内訳は以下になります。単独依頼の場合はC容器 (2mL) でご依頼ください。

項目名	必要量 (遠心後の血漿)	容 器
アルドステロン	0.5mL	C容器 EDTA-2Na 入り (2mL)
		(補足説明) アルドステロン単独は生化学等用 分離材入り (X容器) (6mL) でも測定可能ですが、 アルドステロン/レニン活性比をご依頼の場合は血漿検体(A容器)のみ受託可能となります 。
レニン活性	0.7mL	C容器 EDTA-2Na 入り (2mL)
		(補足説明) 令和3年4月にレニン活性の検査方法が、RIA2抗体法からEIA法に変更した際に必要量が増えました (0.3mL→0.7mL)。

担当 品質保証室 コールセンター

<広報委員> 石田 啓 / 石田 有里 / 新見 唯可

*ウェブサイトでもご覧いただけます。 <http://www.labo.city.hiroshima.med.or.jp/>